


## 2026年度ゼミ（演習1）要覧

担当者名	新多 了
演習テーマ	言語はどのように学ばれるのか？—第二言語習得入門
演習の内容	<p>この授業では、なぜ第二言語（私たちにとっての英語）習得は難しいのか、どうすればもっと効果的に学習を進められるのかについて考えます。具体的には以下の内容を取り扱います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 第二言語習得の様々な概念について理解する。</li> <li>• 外国語学習（主に英語）の効果的な教え方・学び方を考える。</li> <li>• 第二言語習得の主な研究方法について理解する。</li> </ul> <p>「第二言語習得」とは、私たちが母語習得後にどのように2つ目以降の言語（第二言語、または外国語）を学習し使用するのかについて研究する学問分野です。第二言語習得は、「どうすれば第二言語を習得できるのか？」という現実的な問いに答えるために、言語学、心理学、社会学、教育学、人類学などの様々な分野を取り込みながら学際的分野として発展してきました。本演習では、第二言語習得の基本的な理論や概念について理解を深めるとともに、自分の関心のあるテーマを選んでグループで発表およびディスカッションを行います。</p>
テキスト・参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 『はじめての第二言語習得論講義』馬場今日子・新多了著（大修館書店、2016年）</li> <li>• 『「英語の学び方」入門』新多了著（研究社、2019年）</li> <li>• 『英語学習の科学—第二言語習得の専門家11人に英語学習について聞いてみました』中田達也・鈴木祐一編（研究社、2022年）</li> </ul>
成績評価の基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>• グループ発表 60%</li> <li>• レポート 30%</li> <li>• 積極的な授業への貢献 10%</li> </ul>
校外実習	（ <input checked="" type="checkbox"/> 実施する / 実施しない ）
校外実習を実施する場合、実習地・時期、個人負担額	3年次後半（2月中旬）イギリスへの実習を予定しています。
選考方法	志望理由書、面接などから総合的に判断します。
小論文 （テーマ、書式・枚数、提出期限・方法）	なし
メールアドレス	rnitta@k.meijigakuin.ac.jp
説明会・ オフィスアワー	<p><u>説明会</u></p> <p>下記の日時に対面で実施します（予約不要）。内容は同じですので、どちらかに参加してください。昼食を食べながらの参加でもかまいません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 5月8日（金）12時45分—13時15分 @8号館4階ラウンジ</li> <li>• 5月12日（火）12時45分—13時15分 @8号館5階ラウンジ</li> </ul>

	<p><u>応募</u></p> <p>5月24日までに、Google Forms から以下の2点について応募登録をしてください。この登録とは別に、<u>manaba の一般申し込み受付も必ず行ってください。</u></p> <p>(1) 本演習に関心を持った理由および、研究してみたいテーマ  (2) 面接希望日（オンライン）</p> <p>Google Forms（演習1応募）</p>  <p><a href="https://forms.gle/DtnY9bgpm53MKhYs9">https://forms.gle/DtnY9bgpm53MKhYs9</a></p> <p>*5月26日（火）までに面接日時とリンクをメールアドレスに送りますので、必ず確認してください。</p>
履修済・履修中であることが望ましい授業	「ことばの学習と習得」（応募に必須ではありません）
2027・2028年度に在外研究等で演習を開講しない可能性	なし
認定留学期間中（演習2・3開講学期中）の <u>遠隔指導*</u>	可
備考	

\*「遠隔指導」については、「演習1」選考に関するガイダンス資料を確認のこと。